

第39回 日本看護科学学会学術集会

ヒトと人間の科学を看護へ ～時空を超える我々を知り、看護学を別次元へ発展させよう～

2019年 11/30土>12/1日 学術集会長：石垣 和子 (石川県立看護大学 学長)

パネルディスカッション！

「時空を超える高度看護実践能力」

◇企画趣旨◇

看護実践は対象となる個人の意思を尊重しつつ、その時々^の保健医療福祉資源を活用しながら提供されるが、今後その実現のためにどのような能力を看護職は備える必要があるのだろうか？看護実践能力の高度化は今後、どのような場、どのような対象に活かされるとよいのだろうか？

近年進められてきた看護実践能力の高度化を振り返り、変貌する日本社会の未来に向けて今後どのような能力を発展させてゆくかを考え、語り合う機会とする。

日時
場所

2019年12月1日(日) 9:00～10:50

石川県立音楽堂(第1会場 コンサートホール)

演者

「がん専門看護師の発展過程と今後の課題」

田村 恵子 (京都大学大学院)

「これからの地域の変化を見据えた看護実践能力

- ルーラル地域及びそれをカバーする施設における看護実践から -

春山 早苗 (自治医科大学)

「時々入院ほぼ在宅を支える

-在宅での診療看護師(NP)の活動-

島田 珠美 (川崎大師訪問看護ステーション)

「Expert Generalist Practice

～高度看護実践とジェネラリスト医師が出会う場として～

藤沼 康樹

(日本医療生協連合会家庭医療学開発センター)

座長

山本 則子先生 (東京大学大学院)

荒木 暁子先生 (日本看護協会)